

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
チャイルドウィッシュ那加		2026 年 1 月 29 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2		1フロアで十分な広さがある。活動内容を静と動の時間で区別して効率的にスペースが使えるようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		2		足りていないので人員を増やして支援の充実につなげていきたい
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2		ホワイトボードに一日の流れをイラストと文字で表示している	文字が読めないこどものために、イラスト等を使いより分かりやすくしていけるとよい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2		毎日清掃して清潔にしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2		活動時にこどもがマットを使って個別の部屋や空間を作って遊べるようにしている。ヒートアップした時には別の場所にいきクールダウンしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		意見を言いやすい雰囲気を作り、内容を全員で検討して業務改善できるようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2		できていないので今後は外部評価を行い改善していきたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2			研修はあるが全部出られないこともあるため調整して出られるようにしていきたい
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	2			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		共通理解の下で個別支援計画を作成して、こどもの最善の利益を考慮するように努めている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		職員間で個別支援計画が共有できるようになっていて、毎回の支援に生かせるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2		日頃の話合いで活動プログラムの立案をしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2		定期的に新しい活動プログラムを職員間で検討しながら考えている。活動に使う遊具なども検討して活動に加えている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2		集団活動と個別活動の組み合わせを一日の支援時間の中で取れるようにカリキュラムを考えている。またこどもの状況に応じて臨機応変に対応している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		支援終了後に振り返りの時間を持つようにしている。	送迎終了時間がまちまちで、十分に振り返りができないことがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2		記録をとることを徹底して、職員間でも共有しながら検討	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		2		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		2		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	2			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		2		父母の会や保護者会が開催できていないためまずは小規模な会から開催して定期開催に繋げていきたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	1		支援の様子は送迎時や連絡ノートで伝えているが通信やSNSは活用できていないので今後は活用していきたい
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	1		地域住民との交流ができていないのでイベントを開催して地域住民を招待するなど交流を深めていきたい
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1	1		ヒヤリハットは実施しているが共有がなされていないため今後は共有して再発防止に努めたい
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2			

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 チャイルドウィッシュ那加

公表日 2026 年 1 月 29 日

利用児童数

利用児童数

19

回収数

14

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11			3	広いスペースがあって良い。	毎日の清掃時に危険個所がないか確認する。事業所内を清潔に保ち整理整頓する。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1		3	時々、スタッフさんが忙しくしているなど感じることもある。	送迎等で一時的にスタッフが少なくなる時があるため、職員を十分に配置するように努める。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10			4		こどもに分かりやすい空間になっているため、今後も継続していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9			5		整理・整頓を心がける。危険個所や壊れているところがないか定期的に確認するようにする。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1		4		こどもの個々の特性を理解した上で事業所全体で専門性のある支援をしていく。研修等でより知識や理解を深めていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11			3		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11			3		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			3		項目を適切に設定している。より具体的な支援内容を設定するようにする
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1		2		支援計画に沿ってよりきめ細やかな支援をしていく。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10			4		新しい活動プログラムを取り入れられるよう研修をして新しい活動プログラムを行っていく
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	1	7		外部と交流しながら活動する機会が少ないのでこれから増やしていく。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11			3		がけているが、一部どちらとも言えないという意見があるため真摯に受け止めてより分かりやすくお伝えしていく。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1		2		面談をして計画についてお話していく
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	1	7		家族支援プログラムの研修会を開催できていないので開催するようにしたい。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11			3		事業所内での様子をお伝えするように心がけているが家庭や学校での様子も聞いて相互理解して発達をうながしていく
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11		1	2		十分に面談や助言の支援ができていないため、定期的に行っていく
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13			1		ように心がけているが、スタッフ間でもお互いにできているかを確認しあいながら共感的支援をしていく
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	1	9		なかなか会を開催できていないので今後は開催していきたい
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11			3		対応の体制を整備するとともに、スタッフ間でも共有して相談や申し入れがあった時には迅速かつ適切に対応できるようにしていく。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12			2		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5	3		6		SNSをあまり活用できていないので積極的に情報発信していきたい
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10			4		個人情報の取り扱いには十分に留意しているが、一部分からないと回答された方もいるため周知されるようにしていく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			6		分からないという意見が多かったため、定期的に保護者に説明する機会を作る
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1		8		訓練を行っているが、周知・説明されていないため周知してもらえようにする。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1		4		事業所内について十分に安全確保をしたうえで保護者にも伝える
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			3	まだ事故やケガがないので分からない。	怪我などが発生した時には、速やかに連絡するようにしているが、今後は事故が起きないような環境設定に留意する。ヒヤリハットなどで職員間で話し合うようにする。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13			1		安心感を持って通所できているという意見をいただいているので、今後も安心して通える環境や支援を続けていきたい。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13			1		楽しみに通所できていると言ってもらえたので、励みにしながら今後も魅力ある活動を提案していきたい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12			2	いつもありがとうございます。親子共々優しくしてもらえて心の支えになっている	満足していただいているので、より満足していただけるような支援内容を検討して行っていく